＜モンゴル寄付講座・インターンシップ事業　申込書＞

＜申し込み企業＞

|  |  |
| --- | --- |
| 企業名 |  |
| 代表者役職・氏名 |  |
| 所在地 | 日立市 |
| 主な業種 |  |
| 技術分野 |  |
| 主要製品 |  |

＜講座提案書＞

１　下記講座のテーマより2つ以上を選択し、記載例を参考としながら、講座提案書に提案内容を記載ください。

２　講座提案書の書式は、必要に応じ画像を追加し、行を追加するなどして詳細を分かるように記載願

います。

３　講座は、1コマあたり90分を想定しております。

４　インターンとの関連性については、講座と関連したテーマにてご提案ください。

５　その他、これまでに外国人材の雇用やモンゴル国への渡航経験、当財団や茨城県、JICA等の実施する外国人材活用に関するイベントへの参加等があれば加点となりますので、欄外へ記載いただくか、資料を添付いただきますようお願い致します。

○講座テーマと概要

|  |  |
| --- | --- |
| **講座名** | **概　要** |
| 応用人間工学 | 製品を人間工学に基づき改良を加えることで、使いやすさ・簡易さ・安全性の向上・デザイン性など付加価値を向上させることを学ぶ。 |
| 精密機械（金属）加工の応用 | 金属を使用した機械部品や製品を高い精度で加工するための技術や知識を学ぶ。理論と実践を組み合わせ、参加者はインターン時に実際の製造環境で実践する。 |
| 信頼性設計と国際規格 | 社会のインフラの構成品や機器に関する信頼性設計と国際規格を学び、生産システムの信頼性を確保するための包括的なアプローチについて理解する。 |
| 機械力学と材料力学の応用 | 材料の強度、剛性、弾性限界などの特性に関する理解を深める。また材料の特性を考慮しながら加工や製造プロセスを設計する方法について学ぶ。 |
| 機械設計と機械加工の応用 | 信頼性及び耐久性の製品の設計と機械加をとおした製造プロセスを理解し、社会的な課題に対する工学的な考え方に基づくアプローチ方法について学ぶ。 |
| 応用制御工学 | 社会インフラ設備の遠隔監視制御、製造業向け生産設備の電気制御、生産計画・生産実績の管理、マイコン組み込み制御等活用事例より産業向けIOTの概要と活用事例を学ぶ。 |
| 応用制御工学の社会実装 | 制御システムについて、事例を引き合いとした社会実装プロセスを学び、社会課題への適用を検討する。 |
| 応用制御工学の実践演習 | 製品の駆動と制御の核となる制御システム設計の理解を深め、シュミレーションや実機テスト等により、制御倫理による応用的課題の解決を目指す。 |

|  |
| --- |
| 講座名① |
|  |
| **１．講義のねらい**　 |
| **２．講義内容** |
| **３．技術ポイント** |
| **４．インターンとの関連性** |
| **５．使用教材** |

【講座提案書】

【講座提案書】

|  |
| --- |
| 講座名② |
|  |
| **１．講義のねらい**　 |
| **２．講義内容** |
| **３．技術ポイント** |
| **４．インターンとの関連性** |
| **５．使用教材** |

【その他記載事項】

【記載例】

|  |
| --- |
| 講義名 |
| 精密機械（金属）加工の応用 |
| **１．講義のねらい**モンゴルの産業課題の一つに、機械加工の技術向上による自国製品（Maid In Mongolia）プロダクトが挙げられている。未だ、モンゴル製品と呼べる工業製品が皆無に近く、全てを輸入に依存する状況を改善するためにも、日本の高度技術を習得し、本講義で学習した内容をインターン時に実践する。 |
| **２．講義内容**（１）精密機械（金属）加工が用いられる産業種別（２）応用加工された製品種別（３）超精密機械（金属）加工の技術領域（４）加工事例（モーター等）による精度向上 |
| **３．技術ポイント**以下の作業に用いる実機の種別と性能を理解し、応用加工に必要な要件を深める。・○○加工機・△△機・□□機 |
| **４．インターンとの関連性**インターン時には、以下の技術領域に関連する知識を習得してもらう。・○○調査／分析・○○修理／局部補修・○○の製品性能の向上対応 |
| **５．使用教材**・配布資料・動画 |